

おおま

No. 93
岬の光

平成29年5月1日発行

議会だより



さがさんじ

春日弁天神社祭

※ 神社の詳細説明は最終ページに

3月定例議会 主な内容

○平成29年 第1回定例会

P 2～4

○一般会計補正予算／下北広域組合一般会計予算

P 5

○3議員が一般質問

P 6～8

○特別委員会中間報告

P 9

○春日弁天神社 秘宝・編集後記

P 10

平成29年度 当初予算

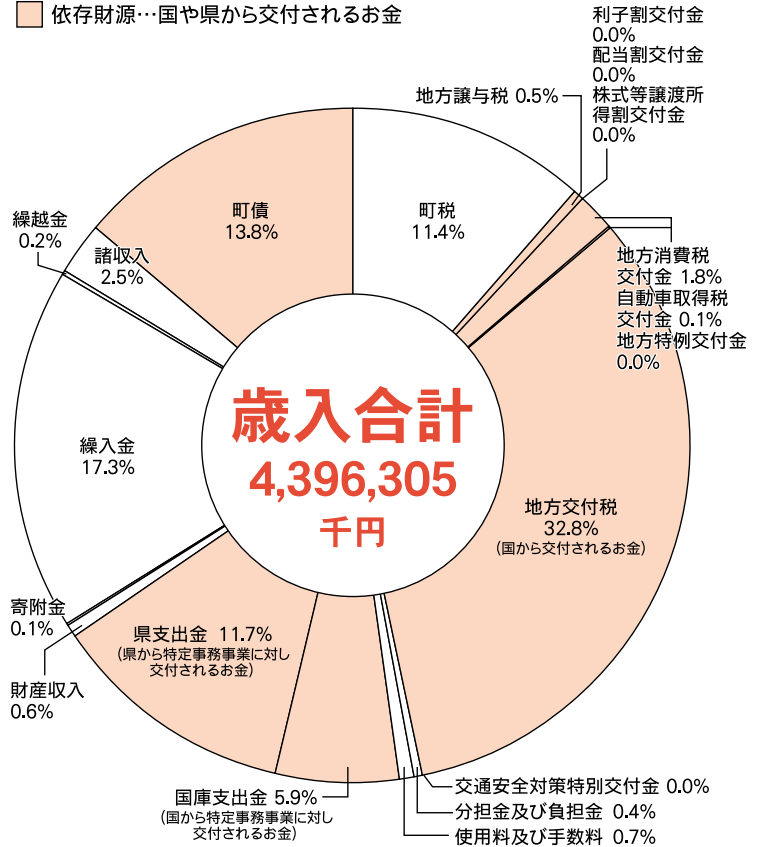
一般会計予算 43億9,630万5千円

◆歳入

(単位：千円、%)

科 目	予 算 額	比 率
1 町 税	501,438	11.4
2 地 方 譲 与 税	22,269	0.5
3 利 子 割 交 付 金	684	0.0
4 配 当 割 交 付 金	1,475	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	84	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	80,003	1.8
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	3,547	0.1
8 地 方 特 例 交 付 金	912	0.0
9 地 方 交 付 税	1,440,214	32.8
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	18,576	0.4
12 使 用 料 及 び 手 数 料	31,699	0.7
13 国 庫 支 出 金	258,733	5.9
14 県 支 出 金	516,067	11.7
15 財 産 収 入	27,507	0.6
16 寄 附 金	4,865	0.1
17 繰 入 金	758,642	17.3
18 繰 越 金	10,000	0.2
19 諸 収 入	111,102	2.5
20 町 債	608,487	13.8
歳 入 合 計	4,396,305	100.0

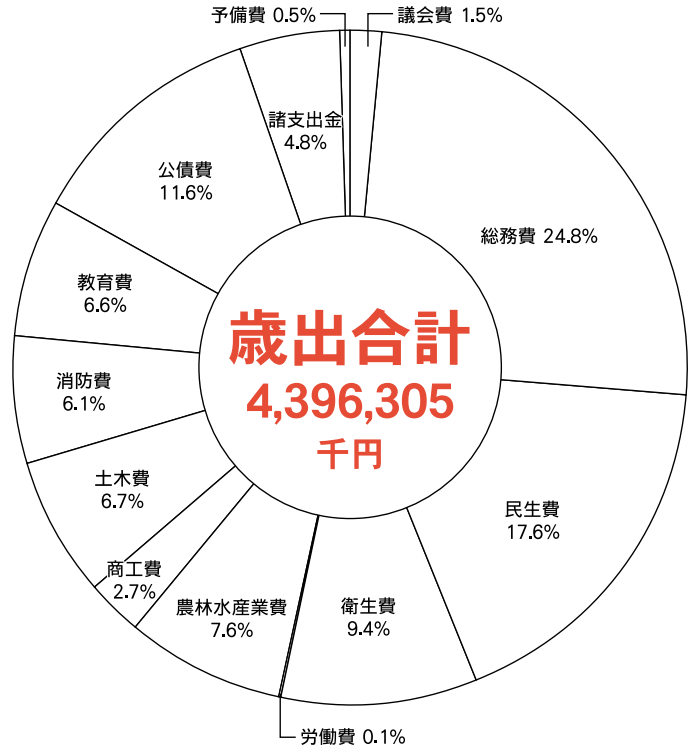
- 自主財源…町独自の徴収や収納
- 依存財源…国や県から交付されるお金



◆歳出

(単位：千円、%)

科 目	予 算 額	比 率
1 議 会 費	64,685	1.5
2 総 務 費	1,088,477	24.8
3 民 生 費	774,450	17.6
4 衛 生 費	412,819	9.4
5 労 働 費	4,069	0.1
6 農 林 水 産 業 費	334,763	7.6
7 商 工 費	117,725	2.7
8 土 木 費	296,264	6.7
9 消 防 費	268,588	6.1
10 教 育 費	291,522	6.6
11 公 債 費	510,193	11.6
12 諸 支 出 金	212,750	4.8
13 予 備 費	20,000	0.5
歳 出 合 計	4,396,305	100.0



第1回 3月定例会

平成29年3月2日開会し、3月9日閉会しました。
本会議に提案された承認4件、議案15件、同意2件はすべて原案どおり承認、可決、同意しました。

平成29年度 当初予算

一般会計

歳入歳出とも43億9630万円となり、前年度比5億2034万円、13.4%の増となる。

歳出の主なるもの

総務費

○防災行政用無線整備
工事費3億9691万円。



○公共用施設維持運営
基金積立金7740万円。
○水産振興基金積立金
3667万円。

農林水産業費

○大函丸購入費4685万円。

○下広負担金6498万円。

○車輛購入費654万円。



民生費

○下広負担金1131万円。

○後期高齢者医療療養
給付費負担金5503万円。

○社会福祉協議会補助
金3089万円。

○障害福祉サービス費
等給付費1億665万円。

衛生費

○国保特別会計、介護
保険特別会計、後期
高齢者医療特別会計
繰出金合わせて2億
4874万円。

○大間保育園運営費及
び児童手当合わせて
1億4340万円。

○うみのこ保育園指定
管理料6342万円。

衛生費

○子ども医療費取扱委
託料1440万円。

○下北医療センター負
担金1483万円。

○各種検診及び予防接
種委託料合わせて1
647万円。

○環境衛生費で下広負
担金7004万円。

○一般廃棄物収集運搬
及び施設等業務委託
料3805万円。

○清掃費で下広負担金
1億3168万円。

○水道事業会計負担金
2674万円。

○材木漁港第2北防波
堤改良工事費1300万円。

○港整備事業負担金2
200万円。

商工費

○小規模経営改善普及
及び商工振興事業補
助金1499万円。

○ブルーマリンフェス
ティバル企画運営委
託料1350万円。

○融資対策事業貸付金
1300万円。

○海峡保養センター、
養老センター指定管
理料1000万円。

土木費

○橋梁維持補修工事費
3300万円。

○港湾改修事業負担金
4275万円。

○下水道事業特別会計
繰出金1億2511
万円。

○材木漁港施設機能強
化事業委託料及び機
能保全計画策定業務
委託料合わせて3000万円。



消 防 費

- 下広負担金2億3850万円。
- 消防団事務委託料1905万円。



教 育 費

- 奥戸小学校増築及び旧校舍解体工事実施設計業務委託料2430万円。



- 奥戸中学校体育館屋根及び外壁改修工事費3624万円。

国民健康保険特別会計

- 歳入歳出それぞれ10億8255万円で、前年度比1137万円、1.0%の減となる。

後期高齢者医療特別会計

- 歳入歳出それぞれ4683万円で、前年度比90万円、1.9%の減となる。

介護保険特別会計

- 歳入歳出それぞれ6億5096万円で、前年度比1億208万円、18.6%の増となる。

下水道事業特別会計

- 歳入歳出それぞれ2億4589万円で、前年度比4万円、0.02%の増となる。

水道事業会計

- 収益的収入及び支出の収入1億7400万円。支出で1億5986万円。
- 資本的収入及び支出の収入271万円。支出で8486万円。

※資本的収入が資本的支出に対して不足する額8214万円は内部留保資金等で補填する。

※議会の議決が必要な経費、職員給2172万円、たな卸資産購入限度額は1100万円とした。

再 任

人権擁護委員

投票数9票
賛成9 反対0



目時浩美 氏

副 町 長

投票数9票
賛成6 反対3



菊池武利 氏

人権擁護委員

大間字下手道6番地2
昭和29年10月9日生

奥戸字向町81番地1
昭和26年12月15日生

主 任 経 歴

平成9年11月 総務課長
平成17年7月 総務課長兼企画調整課長

平成19年4月 総務課参事兼総務課長事務取扱

平成20年4月 企画調整課参事兼企画調整課長事務取扱

平成21年3月 副町長就任

現在にいたる

○奥戸字奥戸93番地 佐々木真萌氏

○大間字冷水3番地3 古川一男氏

○大間字下手道6番地2 目時浩美氏

諸 支 出 金

- 大間病院会計負担金2億975万円。



- 予備費2000万円。

公 債 費

- 元金4億6809万円、利子4209万円の当該年度支払見込額を計上。



商工会館落成

- 町で上限6千万円の助成
- 総工費 5,940万円(税込)
- 総面積(1・2階)
235.18㎡(71.26坪)
- 工期
28年10月28日～29年3月31日
- 請負会社
(株)竹正工務店 竹内正弘



国民健康保険特別会計
歳入歳出それぞれ1億892万円を減額し、予算総額1億1501万円とした。

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ3332万円を減額し、予算総額42億1千万円とした。

一般会計

平成28年度
補正予算

下水道事業特別会計
歳入歳出それぞれ12万円を減額し、予

下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ1億8746万円を追加し、予算総額7億3971万円とした。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ103万円を減額し、予算総額4670万円とした。

後期高齢者医療特別会計

算総額2億3373万円とした。

水道事業会計

収入の営業外収益で3万円を減額し、収益的収入の総額を1億6366万円とした。支出の営業費用で2万円を追加し、収益的支出の総額を1億6318万円とした。議会の議決が必要な職員給与で2万円を追加上。

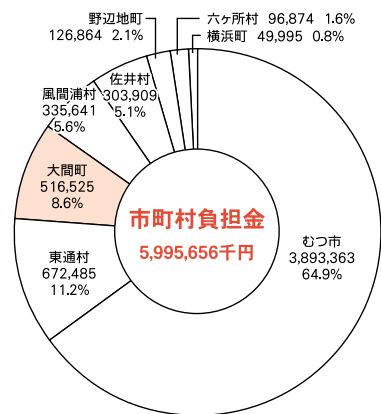
平成29年度実施予定の主要事業一覧

(単位：千円)

事業名	区分	事業費	財 源 内 訳				備 考	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
長寿化計画策定事業		16,200					16,200	下北文化会館
雑突アスベスト除去・蒸気ボイラー改修・冷却水配管更新工事		77,544			65,000		12,544	下北文化会館
ごみ処理施設整備事業		288,326	25,085		246,500		16,741	廃棄物施設課
消防指揮車購入		5,655					5,655	消防本部
むつ署高規格救急自動車等購入事業		52,360			48,000		4,360	むつ消防署
大畑署小型動力ポンプ付水槽車購入事業		78,407					78,407	大畑消防署
大湊署庁舎建設事業		213,263	80,422				132,841	大湊消防署
脇野沢分署広報車購入事業		6,587					6,587	脇野沢消防分署
合 計		738,342	105,507		359,500		273,335	

※1件 1,000千円以上の工事請負費及び備品購入費等

市町村負担金明細



平成29年度 下北地域広域行政事務組合一般会計予算

平成29年度市町村負担金明細

(単位：千円、%)

	議会費	総務費	文化会館費	民生費	衛生費	消防費	公債費	合計	構成比(%)
むつ市	1,188	60,467	118,847	45,523	1,268,084	1,747,488	651,766	3,893,363	64.9
大間町	238	10,343	-	6,721	153,217	274,402	71,604	516,525	8.6
東通村	238	11,600	-	10,590	159,401	415,982	74,674	672,485	11.2
風間浦村	238	7,362	-	5,589	74,214	207,334	40,904	335,641	5.6
佐井村	238	7,529	-	4,159	78,544	169,472	43,967	303,909	5.1
野辺地町	119	5,994	-	-	84,122	-	36,629	126,864	2.1
横浜町	119	2,936	-	-	31,743	-	15,197	49,995	0.8
六ヶ所村	119	4,982	-	-	63,612	-	28,161	96,874	1.6
合 計	2,497	111,213	118,847	72,582	1,912,937	2,814,678	962,902	5,995,656	100.0

一般質問



宮野 昭一 議員

奥戸地域学校教育改革 計画案について

奥戸小学校の将来は？ 奥戸中学校は大間中学校と統合か？

環境を整え、地域の意向等ふまえ、当面現行どおり存続し、教育の充実を図ってまいります。

中学校については、保護者、地域住民の意見や議会の意見を参酌し総合教育会議で慎重に検討し、統合の方針を示した。教育環境を整えることを第一義とし、十分な話し合い、地域の理解を深め前に進むよう教育委員会にお願いしてある。

二 PTA、地域の理解は得られているか
平成25年2月第一回懇談会から始まり、平成26年度地域の説明会を実施しました。この時の参加者が少なく、多くの皆様に周知したく、小中学校の参観日で説明させていただきました。平成27年度も継続し説明会を実施してきました。

平成27年9月25日開催の保護者懇談会で統合の期日を明確にして欲しいとの意向を受け、生徒数の減少状況を踏まえ、平成30年4月に大間中学校との統合に向け推進することとし、議会に報告、保護者へ回答したが、反対意見が多く理解が得られなかった。

談会で説明した。
PTAからは、全校生徒が20人となる平成33年4月統合を目的に話し合いを進めてほしいとの意見が出されました。

三 予想される問題
交流が少ないため不安を抱えていることも多いので、昨年度から部活動、生徒会活動、小学校ではコンサートなど一緒にする機会を多くしている。今後も保護者や地域の皆様のご意見を尊重し、ご理解を得ながら話し合いを進めていく。

下の整備、奥戸地域の教育環境を整えて活動ができるように、明るい教育環境を考えている。

再質問
統合した場合の制服などの負担が大きいので、町の対応は。
教育長答弁
新入生は全額自己負担、2年生3年生については町からの費用負担を考えている。

質問

平成24年12月3日議員全員協議会でこのことが示されてから5年目にはいるが、地域の多くの皆様にご理解をいただいたための対策が必要と考えます。今までの経緯、PTA、地域の理解は得られているのか。

町長答弁

奥戸小学校については、複式学級がすでに実施されており、子供たちにとってより良い

教育長答弁

一 経緯について
平成23年、大間町奥戸地区学校検討委員会を立ち上げ、今後の学校教育の在り方について検討してきた。

子供を取り巻く教育環境の変化に対応するため、奥戸小学校は現行どおり、奥戸中学校は大間中学校への統合の方向で進めている。

教育長答弁

奥戸小学校の特別教室の建設、その後木造校舎を解体、グラウン

再質問

地域から公共施設がなくなることへの抵抗がある。

教育長答弁

施設一体型の小中一貫校ということで理解していますが、それらに対応する校舎改修など多額な費用負担が予想されるので困難と考えている。

(記)宮野

一般質問



野崎 信行 議員

私は1から10までやりたいと思いますので、町長さんには前進ある答弁をよろしくお願ひします。

問1

町民税をただにできないか。200基の小型風力発電ができる。固定資産税が10億円、そのお金が使わく入る。

町長答弁

納税は社会存続の基本事項であり、現在そのような考えはございません。

院へドクターヘリが直接行けるようにしてもらいたい。

町長答弁

県としての考え方は、函館病院に搬送するという考えは、今現在ないというふうに向っております。

問4

大間から易国間までのバイパス計画がされていない。大間から易国間までの区間のバイパスができていない。何時できるのか。

町長答弁

県において調査検討中であります。

問5

奥戸バイパスについて、下北期成同盟会会長ではやれない。大間町、佐井村、風間浦村の3町村で、北通連合会をつくってやったほ

問3

ドクターヘリについて、大間から函館の病

うが予算が付きやすいので進めてもらいたい。

町長答弁

県に要望しているところであります。

問6

オフサイトセンターについて、佐井村にオフサイトセンターができた場合、大間から何人いけるのか、道路は大間原発の前は通れないと言われている。大間温泉から佐井村までのバイパスをつくるべきである。

町長答弁

オフサイトセンターについてであります。設置地点がまだ決定されておりません。

問7

大間消防署建設について、消防署は耐震化工事をしていないの

問8

中山間地総合整備事業について、農道潜石を延長とし、大間蒼前石まで延ばしたらよいと思う。

町長答弁

事業の費用対効果を勘案しても延伸は不可能と判断いたします。

地方創生汚水処理整備促進交付金事業について、奥戸下水道をやらなないといっているが、全国で県の補助金を使い、40万円くらい

で、いつ建設に取り掛かるのか説明をいただきたい。

町長答弁

公共施設配置計画策定建設特別委員会と協議しながら、着実に前に進めて参りたいと思

町長答弁

今後の協議を重ねた中で、合併浄化槽の設置の補助をしていったらどうかというふうなことで、今進めております。

問10

大間温泉養老センターの水路整備について、温泉水の水が流れないで溜まっているので、大型側溝を入れて流れるようにしていただきたい。

町長答弁

そういう整備をすることで進めておりますので、ご理解をいただければと思います。

町長答弁

（記）野崎

一般質問



岩泉 盛利 議員

町内会からの要望に対する町の対応について

町長答弁

今お話し

になった部分については、基準を見据え、内容を精査して対応していけると思います。また土地を寄付していたとしても、直ぐに側溝整備や舗装事業がやれるかどうか、道路要望に関して、満足できない整備状況でない部分も含め検討しなければと思います。

問

今までの一般質問に対し、努力するとか検討するとの答弁で、実際に進めたところが見えない。今回は検討で終わりでなく、実現してもらいたい。

(記)岩泉

問 町民からの多数の要望が町の財政難のため充実したサービスが出来ていない。住民サービスの遅れが税金の滞納に関わっているのでは。

町長答弁

町内会の要望対応については、地域の皆さんからの重要な意見と認識している、出来る限り実施するよう努めます。道路整備については、今後道路の状況等、地域の環境等を考慮しながら整備を進めて行き、また税の徴収率に影響しているのではについて

ラーが4件であります。道路整備については順位を決めて進めているということであり、ますが、なかなか予算に盛られないように感じます。

町長答弁

道路要望

に関して、21年度から59件で実施済みが24件、29年度は3件の予算化をしている。27件については、今後対応していく。25件については検討中であり、ますが、適宜整備するよう努めます。

問

平成9年5月の

古いときわ町の道路要望であります。当時の建設課にお願いし、現地で町道には5mの道幅が必要で行き止まりでも出来るという事で、早速平成10年1月14日に請願書を提出、その後、建設課に行つたら請願書は無く、何処に置いたか定かでない、古いから破棄したかもと無責任な話でありました。ここに請願書のコピーがあります。10年1月14日に土地を道路用地として町に寄付したいと7名の連名で代表者が申請しております。24年5月新課長と係が現地で自分たちでやると断言したが、25年4月課長が替わり、行き止まりでは出来ないと言われた。前課長は出来ると言ったのに、出来ない理由を知りたい。私達の地域には高齢者や病人が多く、雪かきも出来ません。もう少し町民らしい扱い、暖かい手を差し伸べて下さい、住民への愛の手をよろしくお願いしますという事で、私が現場を調査したところ、120mほどで90度曲がり、30mで学校道路に出る場所であり、なぜか

その30mは私有地であるのに、町が側溝整備をしている。私には理解できないが。

町長答弁

道路として

寄付に関しては、町で要綱等に定めていませんが、一般的な考え方として幅員の問題や道路として繋がっているかが基本であると認識している。そういう意見から今お話しがあった部分については、私も認識していない部分もありますので、精査し、どう対応すべきか判断をしたい。

問

今申し上げた120m

については、町の判断で出来ると思います。ただあまりに時間がかり過ぎて、何人か亡くなっている状況である。こういう土地がまだまだ有ると思うが、財政が厳しい中でも住民サービスに努力すべきである。



中間報告



完成予想図

大間町役場庁舎建設事業中間報告

大間町公共施設配置計画策定・建設特別委員会

◎決定事項

平成28年9月20日の臨時会において総工費15億6千万円を上限とする債務負担行為補正予算を可決

建設方法

※鉄骨造り

※15年の無償譲渡特約

付賃貸借契約

支払方法

※15年間のリース料の支払いについては、町の財政状況が厳し

いことから、原子力発電所の固定資産税が入るまでの期間

は、電源開発(株)が応分の負担をする

入札方法

※プロポーザル方式

(業務の委託先や建築物の設計者を選定する際、目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行ったものを選定する方式)

※平成28年11月29日庁舎建設の公募に伴う

プロポーザル審査会を設置

※平成29年1月24日プロポーザル審査会の

結果及び、事業者の決定報告

※決定業者

大和リース(株)

青森営業所

平成29年1月31日、

両者間で協定書を締結

◎継続審議

平成29年2月27日基本設計にあたり議会側の意見集約に臨んだが、議会側から意見が噴出、再度設計見直しを提案された。

平成29年4月14日、

大和リース(株)も同席して「基本設計の概要」説明があった。

◎概要内容

敷地面積

約9650㎡

一階床面積

1371㎡

二階床面積

1337㎡

PH階

79㎡

総駐車台数

156台

諸室配置

一階には町民ホール(イベントホール)

エレベーター一基

授乳室 一部屋

執務エリアとして、税

務保険課・住民福祉

課・生活整備課・産

業振興課・会計管理

課

二階執務エリアとして、

町長室・副町長室・

応接室・総務課・企

画経営課・教育委員

会・教育長室・議

場・正副議長室・議

員控室・議会事務局

他、一階と二階に合

わせて5部屋の会議

室が計画されている。

何故大間に

根田内地区にひっそりとたたずむ赤い鳥居の小さな神社がある。

別當が管理しているわけではなく、信仰心の強い地域の人たちが、寄付を募り建立した神社だという。

神社名は「春日弁天神社」。

その昔、細間の浜に誰が何の目的で建立したのか今となっては知る由もないが、波打ち際に名もない小さな社が戦後まであったという。波が荒いことで有名な大間の海。

その波打ち際に建てられていたとなれば「推して知るべし」である。大時化で壊されてしまい現在の場所に、昭和39年2月3日建立されたと聞いている。

私が昨年参拝に行つた時、奉納されている鰐口(わにくち)を拝見して驚いた。

鰐口表面の右側に「筑前残嶋虎吉丸幸作」左側に「宝暦十三年(西暦1763年)五月吉日」と銘があったのである。

調査依頼を受け、今現在分かったことだけを報告すると、「宝暦十三年(西暦1763年)とは、徳川幕府第九代將軍徳川家重末期の年。

「筑前残嶋」とは、福岡県博多湾にある島で、現在名は能古島(このしま)

「虎吉丸(とらよしまる)幸作」とは、その時代、博多湾の西側にある残嶋・浜崎・今津・宮浦・唐泊の五つ

の浦が手を組み「筑前五ヶ浦廻船」として商いを始め、船乗りたちは千石船に乗り込み日本全国を舞台に活躍していたという。

虎吉丸もその内の一艘で、別の文献では船名の記載はないが、千四百七十七石船頭幸作とあることから、推測ではあるが虎吉丸の船頭だったのだろう。

昔から大間地域は岩礁が多く、千石船の廻船・北前船が唯一入れる場所は細間の浜で、一艘だけが可能だったとある。だが係船の記録は何も残っていないので半信半疑だったので、今、初めて可能性が見つかった。何故ならばこの鰐口は通常の鰐口より二回りぐらい小さく、多分、船内の神棚につるされていたものと推測される。

波打ち際にあった社は、風任せ、男気だけ

で航海をしていた時代「航海の安全」を願い建立したのでは。

係船した虎吉丸の船頭もこの鰐口を奉納、航海の安全を願い、手を合わせたのではと考えれば辻褄が合うような気がする。

神社の経緯の聞き取り時、証言者の一人が「この鰐口は、今は他県に移住した高齢の方が子どもの頃、社の浜

で叩いて遊んでいた物で、神社が新しくなったので収めたい」と、持参したという。

歴史を紐とく時、些細なことが、きっかけになることが多い。持参した方のおかげで、細間の浜の歴史、疑問が解明されようとしている。と、同時に大間の宝がまた一つ増えた。(記)加藤



編集後記

春風の心地よい季節になりました。

新入生、新社会人の皆様、新しい生活環境には慣れましたか。

今季のウニ籠漁も、例年通り活気づいております。無理のない安全操業で、町への活性化へと繋がっていくことを願っています。

日増しに過ぎるが、い季節となりましたが、夜分には肌寒さも感じます。どうかお身体をご自愛ください。(記)佐々木

議会広報編集委員

委員長

加藤 正喜

副委員長

佐々木 信彦

委員

竹内 勝雄

千代谷 誠

竹内 弘

宮野 昭一